

乳幼児保育施設の保育実践に関する研究

—青森県弘前市の実践を通して—

原子 純 昭和女子大学

要旨

今日の子ども達を取り巻く負の状況が複雑かつ深刻化し、家庭・地域社会の教育力が低下している中、集団施設としての幼稚園や保育所といった専門的な場に、より一層期待が高まり、「人間形成にとっての教育」の場を求めることとなっている。

今後においても、幼児にとっての「家庭」や「地域社会」の本来の役割を高めつつ、幼稚園・保育所がその目的と責任を果たしていくことが強く求められる。

そこで、「青森県弘前市」の幼稚園・保育所、総合施設の保育実践を通して現代の乳幼児保育とはどのようなものかを考察した。

【キーワード】 保育実践・幼稚園・保育所・総合施設・子育て支援

1. 問題と目的

都市化や核家族化の進行、女性の社会進出や就労形態の変化等に伴い子育て家庭が近隣から孤立化し、育児への不安や負担感を強めている。更に、少子化等により子育て家庭や地域における養育機能が低下している。それらが要因となり乳幼児の健やかな成長が脅かされ心身を傷つけられる出来事が懸念されている。

そのため、子育て支援に必要な家庭に必要な支援を提供することが重要である。また、支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めることが困難な家庭へは訪問等による支援を提供し育児不安の解消と育児支援の充実を図っていくことが必要である。そして、男女が協力して子育てしていく意識の不足や子育てを支える地域社会の結びつきや社会的支援の仕組みもまだ不十分で、子育てが社会的に孤立化し、育児不安に陥りやすい現状が広まっている。必要な子育ての情報がいつでも気軽に得られ、仕事と子育ての両立支援が可能なサービス支援体系や男性を含めた子育て支援策が求められている。そこで、国のエンゼルプランを初め、子育て支援対策が進められている。この行政策の中で、乳幼児保育施設はその中核としての役割を求められている。しかし、現在の子育て対策には幾つかの問題がある。まず、子どもの育ちに関する検討が不十分であることである。そして、当面のニーズにとりあえず対応しようとするものであることであり、また、親世代が現代的社会に育っており、支援対策の選択力に持たれるような減少が見られること、などである。

従来、保育所は保育に欠ける子どもの保育を中心に子育てと就労の両立支援施設としての役割を担ってきた。しかし、保育ニーズが増大かつ多様化し、特に低年齢児の保育ニーズの拡大と保育所入所率の増加等により、多様な保育形態での対応が求められている。家庭での子育て機能の低下と育児力の低下が懸念される中、専業主婦への子育て支援策を含めた、必要な時に安心して利用できる多様な保育ニーズに柔軟に対応できるサービスの提供と、親と保育者とのパートナーシップの確立が不可欠である。そのために幼稚園・保育所への期待が高まり、地域の子育て支援の役割を担う幼稚園

教諭、保育士の更なる資質向上が求められ、子育てを通じ親自らが親として育っていく機会をうばわないような配慮が必要である。さらに、親の就労形態で区別せず、誰でもが子どもを預けられ、幼児教育、保育を可能とし、子育て支援を重視し、親の育児力の向上を目指した多様で柔軟な幼稚園、保育所総合施設を視野に入れた保育施設の適正配置・規模の整備が必要であると考ええる。

青森県弘前市は、本年度より実施された「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した保育施設」（総合施設モデル事業）に選定された全国 36 か所の 1 園を有しており、幼稚園実践・保育所実践に加え、総合施設での保育、これからの地方自治体の保育実践等の様々な保育課題に取り組んでいる。

そこで、現代の保育実践、特に総合施設に注目し、「青森県弘前市」の保育実践から幼稚園・保育所、総合施設の保育実践から現代の乳幼児保育とはどのようなものかを考察した。

2. 方法

2-1. 聞き取り調査

- (1) 調査の対象：幼稚園(総合施設含む)＝青森県弘前市教育委員会学務課
保育所＝児童家庭課児童育成係
- (2) 聞き取り日時：平成 17 年 11 月 14 日
- (3) 調査方法：青森県弘前市教育委員会学務課・児童家庭課児童育成係にて聞き取り

2-2. 資料調査

- (1) 調査の対象：・幼稚園 12 園（うち国立 1 園、公立 1 園、私立 11 園）
・保育園 59 園（うち公立 3 園、私立 56 園）
・総合施設 1 園（私立 1 園）
- (2) 調査内容：・各園よりパンフレット（入園案内）を収集し、保育内容を整理する。
・総合施設は、実地観察を実施（平成 17 年 11 月 14 日）。

3. 結果と考察

3-1. 青森県の乳幼児保育施設の現状

現在、青森県は、幼稚園総数 141 園（国立 1 園・公立 22 園・私立 118 園）であり、青森市 33 園（私立 33 園）、八戸市 27 園（公立 1 園・私立 26 園）、次いで弘前市 12 園（国立 1 園・公立 1 園・私立 10 園）となっている。また、保育所総数 489 所であり、青森市 88 園（公立 4 園・私立 84 園）、八戸市 68 園（公立 5 園、私立 63 園）、そして、弘前市 59 園（公立 3 園・私立 56 園）である。さらに、青森県では、弘前市に本年度より実施された「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した保育施設」（総合施設モデル事業）に選定された全国 36 か所の 1 園を有している。

3-2. 弘前市の乳幼児保育施設の現状

- (1) 弘前市の幼稚園について＜資料 1＞
全 12 園＝国立 1 園、公立 1 園、私立 10 園
弘前市の幼稚園は、全 12 園であるが、その内訳は、国立・公立・私立が設置されている。

私立幼稚園は、通常の保育時間とは別に、延長・預かり保育を実施し、加えて、長期休暇中にも保育を実施している。また、ほとんどの園で、バス送迎・給食・未就園児保育等を実施している。それら私立幼稚園は、弘前市教育委員会学務課が統括しているが、弘前私立幼稚園連合会が 10 園協力しあい、

- ・私立幼稚園振興のため、市当局へ陳情
- ・合同園児募集
- ・研修事業の実施
- ・県私幼、全日私幼連との連携
- ・幼稚園フェスタの開催

等を行っている。また、地区の P T A 連合会と協力し合い、さまざまな補助金の陳情をしたり、勉強会をも実施している。

(2) 弘前市の保育所について<資料 2・3>

全 59 園＝公立 3 園、私立 56 園、(認可外 9 園)

弘前市の保育所は、保育時間は、7:00～18:00 又は 7:30～18:30 の 11 時間保育が主であるが、その多くが、延長保育を実施し、24:00 までの保育を実施している園が 2 園ある。他にも一時保育事業・障害児保育事業(集団保育のできる児童)・地域子育て支援センター事業・休日保育等を実施している。

(3) 弘前市の総合施設について

私立 1 園 (S 幼稚園・S 保育園分園)

弘前市は、本年度より実施された「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した保育施設」(総合施設モデル事業)に選定された。

3-3. 弘前市の総合施設実践

(1) 総合施設の定義

①文部科学省初等中等教育局幼児教育課・厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課『総合施設モデル事業の採択について 2005(平成 17 年 4 月 6 日)』<資料 4>

1 趣旨

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」(平成 15 年 6 月閣議決定)において、就学前の教育と保育を一体として捉えた一貫した総合施設の設置を可能とするよう、平成 18 年度までに検討することが決定された。また、「規制改革・民間開放推進 3 カ年計画」(平成 16 年 3 月閣議決定)においては、総合施設の現実に向けて、平成 17 年度に施行事業を先行実施するなど様々な準備を行い、平成 18 年度から本格実施を行なうこととされたところである。

さらに、「中央教育審議会幼児教育部会と社会保障審議会児童部会の合同の検討会議」の審議のまとめにおいては、教育・保育の内容や職員配置、施設設備等の在り方について、施行事業を含めて引き続き検討していくことが適当であるとされたところである。

これらを踏まえて、平成 17 年度の総合施設モデル事業を実施し、その成果に基づき、総合施設の具体的な制度の検討を行うことにより、総合施設の円滑な実施に資する。

2 委託先

都道府県、指定都市及び中核市

※モデル事業は、下記内容で事業を担いうる幼稚園、保育所等において実施。

3 委託期間

委託を受けた日から平成 18 年 3 月 31 日までとする。

4 事業の実施

実施園は、「中央教育審議会幼児教育部と社会保障審議会児童部会の合同の検討会議」の審議のまとめを踏まえ、実施園において就学前教育と保育を一体として捉えた教育・保育活動をモデル的に実施し、当該活動を通じて、教育・保育の内容や職員配置、施設設備等の在り方など、総合施設制度の実現に向けた課題等について、都道府県等と協力して調査研究を行なう。

ア 実施内容

- ①就学前（0～5 歳）の全ての子どもを対象とした教育・保育サービスを提供すること。ただし、0～2 歳児については親子登園を行なうことで、保育に 代えることもできる。
- ②8 時間程度（3～5 歳児については、4 時間程度の共通の教育・保育時間を確保）の利用を希望するニーズにも対応した教育・保育サービスを提供すること。
- ③親について、親子の交流の場の提供や子育て家庭への相談や支援を行なうこと。

イ 実施形態

- ①既存の幼稚園と保育所とが連携し実施【幼保連携型】…原則として幼稚園と保育所の建物が合築又は併設。ただし、建物が離れていても施設の管理運営及び教育・保育が一体的に行なわれていれば可とする。
- ②幼稚園に保育所的機能を附加して実施【幼稚園実施型】…既存の幼稚園が附加的に保育サービスを提供する。
- ③保育所に幼稚園的機能を附加して実施【保育所実施型】…既存の保育所が附加的に教育サービスを提供する。

ウ 教育・保育の内容、職員配置

合同検討会議の審議のまとめを踏まえて設定。

〈教育・保育内容〉幼稚園教育要領及び保育所保育指針に沿ったものとする。（3～5 歳児については、4 時間程度の共通の教育・保育時間の活動内容を各実施園に置いて工夫。なお、それらの活動内容については、幼稚園における教育に相当するものと位置付けることを想定。）

〈職員配置〉0 歳…概ね子ども 3 人に 1 人以上、1～2 歳児…概ね子ども 6 人につき 1 人以上（又は 0～2 歳児を通じて概ね子ども 3 人～6 人に 1 人の間）、3～5 歳児…概ね子ども 20 人～35 人に 1 人の間

5 本事業の経費の取扱い

- すべての実施園について、調査研究事業に要する経費を支出
- 私立施設において実施する場合、モデル事業実施のために新たに必要となる経費を支出

② S 幼稚園・S 保育園分園による『総合施設モデル事業』の経緯と展望

（インタビュー・資料から）

a. 分園設置の趣旨

『 S 幼稚園は幼児教育施設としての役割と同時に、S 学園設置の T J 大学児童学科、T J 短期大学保育科の幼稚園教諭並びに保育士養成において隣地実習と幼児教育研究機関の役割を担ってきた。その役割は、3 歳児以上の教育と同時に乳幼児保育も取り込んだ一貫した視点がより重要となってきた。』

本幼稚園は施設の余裕部分を活用して、社会福祉法人 I 設置の S 保育園の協力を得て上記趣旨を具体化すべく関係諸機関の指導のもとに幼保一元的教育・保育環境の整備に努め、平成 15 年 4 月より本幼稚園内に S 保育園分園を開設し現在に至っている。』

b. 幼・保一元総合施設設置の経緯と展望

『 幼稚園に保育園が併設されたことによって、幼稚園に通う兄弟と保育園の弟妹が一緒に園舎で生活することは父母のとても大いに歓迎されたことです。』

特に、異年齢の子どもが生活する機会が少なくなっている現代において、年長組みの子どもが小さい子の面倒を見る姿をたびたび見かけるなど情緒的にも良い影響を見られています。

今後の展望としては、当初希望であります幼稚園・保育園の学園による一元的運営を実現して、乳幼児の教育・保育施設としての充実はもとより教育研究

施設としての活用、そして地域住民の子育て相談父母交流の場としての拡充に努めたいと考えております。』

c. 教育・保育状況

既に、平成15年4月よりS幼稚園内にS保育園分園を開設し現在に至っている。つまり、実施園は【幼保連携型】ということになる。教職員は、両園とも幼稚園教諭免許状と保育士資格両方を取得している保育者が対応している。

幼稚園は定員400名、保育所は29名が異年齢交流や合同行事を主に実施している。現在、総合施設の特徴を活かし、カリキュラムの検討・園内交流・子育て支援を実施しているが、クラス構成等から通常の保育形態は、幼稚園・保育所それぞれの機能分離している。それは、保育形態の相違・低年齢児への対応・園児数の相違等の課題があるため、すべてを総合的あるいは統合した教育・保育に無理が生じるからである。基本的な保育内容は、S幼稚園の施設余裕部分2保育室分を活用して、S保育園の保育が実施されている。

4. まとめ

昨今、構造改革が騒がれる中、「幼保一元化」という言葉が広がりを見せている。異なる制度に基づく幼稚園と保育所を、施設の共用や運営の一体化を進めるというのが幼保一元化の最近の動きであるが、一方で幼稚園と保育所の違いは次第に薄れてきている。従来は、保育所は両親が共働きの子どもを主に対象とするため保育時間が長く、幼稚園は保育時間が短いという違いが大きかった。しかし最近は幼稚園も利用者ニーズの変化や経営面の問題を背景に、コア時間を超えて夕方まで預かるところが増えつつあるうえ、保護者が共働きという家庭の割合もさらに増加している。つまり、今、幼稚園と保育所と区別して呼称されているのは、必ずしもハードとソフトの絶対的な違いによるのではなく、制度や所轄官庁の違いにのみよるところが大きいのである。

保育ニーズの多様化社会、少子高齢化社会において、子どもを受け止め、子どもの育ちの環境を整え、必要な援助は何かと考えていく体制を確立する事が今何よりも必要なことであり、そのために幼稚園と保育園が一体化するなど、乳幼児保育施設の役割は一層重要になると考える。

現在、幼稚園の教諭は文部科学省、保育所の保育士は厚生労働省が管轄しており、受け入れる子どもの年齢や時間、料金、職員数、資格などはそれぞれ異なっている。

近年の女性の社会進出や雇用形態の多様化で、ニーズは預かり時間の長い保育所へとシフトしている。それだけに幼児保育から就学前教育までを担う幼保一元化施設づくりは、時代の要請ともなっている。今回、文科省と厚労省が垣根を越えて協力するモデル事業の実施施設は三パターンに分けられた。幼稚園に保育を付加する幼稚園型、保育所に幼稚園の教育機能を追加する保育所型、既存の幼稚園と保育所が連携する幼保連携型だ。いずれの場合も従来の規制が取り払われ、保護者の就労有無などには関係なく、ゼロ歳から就学前までの子どもを預かる。幼稚園型も含め現行の保育所並みの8時間程度の利用も可能とした。幼稚園のお迎え時間はゆったりし、保育所で就学前教育も実施される。歓迎する保護者も多いと考えられる。

青森県弘前市は、私立幼稚園での通常の保育時間とは別に、延長・預かり保育を実施し、加えて、長期休暇中にも保育を実施している。また、ほとんどの園で、バス送迎・給食・未就園児保育等を実施している。そして、保育所では保育時間は、7:00～18:00又は7:30～18:30の11時間保育が主であるが、その多くが、延長保育を実施し、24:00までの保育を実施している園が2園ある。他にも一時保育事業・障害児保

育事業（集団保育のできる児童）・地域子育て支援センター事業・休日保育等を実施している。加えて、本年度より実施された「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した保育施設」（総合施設モデル事業）も有しており、様々な形態で乳幼児の教育・保育を実践している。

幼児期は、人間形成のうえで極めて大切な時期である。従って幼児期の教育は、基本的な生活習慣の方向付けを行うとともに、豊かな生活体験を通して自我の形成を図り、さらに基本的な規範意識の育成を図ることが重要である。

また、幼稚園・保育所においては、集団生活を通して、表現する力やよりよい人間関係を築くなどの生きる力の基礎を培わねばならない。

近年の核家族化、少子化の中で望ましい乳幼児教育・保育を確立するためには、幼稚園や保育所が子育てに関する相談機能や支援活動の役割を担っていく必要がある。その中で、共同研修による教職員の資質向上や相互の実践交流等による教育内容の充実に向けて、より一層、幼稚園と保育所の連携を図っていかなければならない。さらに、幼児教育機関と学校教育機関及びその他関係機関との連携についても検討が必要であるといえる。

近年の少子高齢化、女性の社会進出にともなう幼児教育や保育へのニーズの多様化といった社会状況の変化は、幼児を取り巻く直接的な環境である家庭や親の意識、あるいは地域社会にも影響を及ぼし、それが幼児の生活に大きな影響を与えている。

そこで、公共と民間の役割分担や幼稚園と保育所の連携等を踏まえたこれからの幼児教育の在り方について、十分に検討する必要がある。

本研究では、弘前市の保育実践の概要を把握した段階までであるが、子どもの生活を知るにはある程度維持して、一人一人の家庭的な環境まで含めての観察も必要である。そして、今回のように限られた資料を中心とした断片的・断定（限定）した状況だけの得られた記録・データーだけから、保育内容を判断することは非常に困難である。今後も弘前市の乳幼児数変移や就労状況変化、保育ニーズ等との相互性を踏まえた乳幼児施設のあり方を継続調査し、より明確な研究にしていきたい。

5. 引用・参考文献

- ・文部科学省学校基本調査等（平成 17 年 5 月 1 日現在）の A 県集計結果
- ・文部科学省初等中等教育局幼児教育課・厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課『総合施設モデル事業の採択について 2005（平成 17 年 4 月 6 日）』
- ・浅井春夫(2004)：「次世代育成支援」で変わる、変える子どもの未来．山吹書店
- ・阿部和子(2003)：保育者のための家族援助論．萌文書林
- ・安梅勅江(2004)：子育て環境と子育て支援－よい長時間保育のみわけかた－．勁草書房
- ・大場幸夫編著(1995)：新しい保育ニーズと保育所．建帛社
- ・柏女霊峰・山本真実著(2000)：新時代の保育サービス．フレーベル館
- ・柏女霊峰著(2003)：子育て支援と保育者の役割．フレーベル館
- ・木下弘貴著(2005)：幼稚園が危ない．文芸社
- ・小宮山潔子著(2005)：幼稚園・保育所・保育総合施設はこれからどうなるのか
チャイルド本社
- ・小室豊允著(2005)：保育所改革とマーケティング．筒井書房
- ・鈴木祥蔵著(2000)：「保育一元化」への提言．明石書店
- ・保育行財政研究会編(2002)：市場化と保育所の未来－保育制度改革どこが問題か－．自治体研究社

- ・ 保育行財政研究会編(2001)：保育所への企業参入－どこが問題か－. 自治体研究社
- ・ 保育行財政研究会編(2000)：公立保育所の民営化－どこが問題か－. 自治体研究社
- ・ 松岡俊彦(2000)：多様な保育サービスと子育て支援. 筒井書房
- ・ 森田明美編著(2001)：幼稚園が変わる保育所が変わる. 明石書店
- ・ 森上史朗・柏女霊峰編(2004)：保育用語辞典. ミネルヴァ書房

資料1 弘前市幼稚園一覧

	園名	設置者	学級数	定員	保育時間	バス送迎	給食	未就園児保育
1	HK	国立	5	160	月・火・木・金 8:45~12:45・13:15~13:30(年少・年中・年長) 水 8:45~11:00・11:15~11:30(年少・年中・年長)			
2	W	公立	2	70	8:00~14:00			
3	S	私立(学校法人)	8	400	8:30~14:00 (要望保育 7:30~8:30・延長保育14:00~19:00)	○	○	
4	HM	私立(学校法人)	5	120	8:30~14:00 (預かり保育14:00~17:30)	○	○	
5	M	私立(学校法人)	3	70	9:00~14:00	○	○	○
6	B	私立(学校法人)	10	230	8:30~14:00 (預かり保育14:00~16:30・18:00)	○	○	○
7	HO	私立(学校法人)	7	215	9:00~14:00(週5日制) (預かり保育14:00~18:00・土8:30~11:30~16:00)	○	○	○
8	W	私立(学校法人)	3	90	9:30~14:00・水曜日は13:00まで (特別保育 ~17:00)	○	○	○
9	H	私立(学校法人)	3	90	8:30~14:30 預かり保育 実施)	○	○	
10	Y	私立(学校法人)	3	100	10:00~14:00 (預かり保育14:00~17:00)	○	○	
11	HM	私立(学校法人)	7	200	9:00~13:50 (預かり保育 7:00~18:00・長期休暇中)	○	○	
12	HK	私立(学校法人)	6	180	9:00~13:30 (預かり保育13:30~17:30・長期休暇中8:30~17:30)	○	○	

資料2 弘前市保育所一覧

	園名	地区名	区分	定員	保育時間		特別保育事業等					乳児保育	登所バス
					開所時間	閉所時間	延長	一時	障害	センタ	休日		
1	N	旧市内	私	60	7:30	18:30						産	
2	H		私	90	7:00	0:00	○	○	○		○	産	○
3	T		私	60	7:30	19:00	○					産	
4	S		私	60	7:30	18:30						産	
5	H		公	110	7:30	18:30						11	
6	T		私	60	7:00	21:00	○				○	産	
7	S		私	45	7:00	18:30		○	○			産	
8	J		私	45	7:15	19:00	○					6	
9	F		私	90	7:00	19:00	○					産	
10	D		私	90	7:00	19:30	○	○	○	○		産	
11	S		私	45	7:15	19:00						産	
12	K		公	60	7:30	18:30						4	
13	N		私	15	7:10	19:00	○	○				産	
14	Y		私	60	7:00	19:00	○					産	
15	M		私	210	7:00	20:00	○	○	○	○	○	産	
16	R		私	60	7:00	19:00	○					産	
17	H		私	60	7:00	20:00	○	○				産	
18	Y	小沢	私	30	7:30	18:00						産	
19	O		私	45	7:30	18:30						産	
20	A		私	45	7:30	18:00						産	
21	S		私	60	7:00	20:00	○					産	○
22	O		私	90	7:00	19:00	○	○				産	
23	S	和徳	私	45	7:20	18:50	○	○				産	
24	M		私	60	7:30	18:30						産	
25	Y		私	90	7:00	19:15	○					産	
26	S		私	60	7:00	20:30	○	○			○	産	
27	N	豊田	私	60	7:10	19:00	○					産	○
28	H		私	90	7:00	19:00	○					産	○
29	D		私	60	7:00	19:00	○					産	
30	R	堀越	私	60	7:30	19:00						産	
31	H		私	60	7:00	19:00	○					産	
32	W		私	60	7:00	20:00	○	○				産	
33	F		私	60	7:00	19:00	○					産	○
34	H		私	60	7:00	19:00	○		○			産	○
35	H		私	45	7:00	20:00	○	○				産	○
36	S		私	29	7:00	20:00	○					産	○
37	J	千年	私	90	7:30	18:30						産	
38	M		私	60	7:00	18:30	○					産	○
39	M		私	60	7:30	18:00						産	
40	T		私	45	7:30	18:30						産	

41	F	藤代	私	60	7:00	19:00	○					産	○
42	T		私	90	7:00	19:00	○					産	
43	S		私	30	7:00	0:00						産	○
44	F		私	120	7:00	19:00	○					産	
45	K	東目屋	私	45	7:30	18:30					○	産	○
46	N		私	45	7:30	19:00						産	
47	F	船沢	私	60	7:30	19:00	○					産	○
48	T	高杉	私	45	7:00	19:00			○			産	
49	T		私	120	7:00	19:30	○		○		○	産	○
50	K		私	90	7:00	19:00	○				○	産	○
51	S	裾野	私	60	7:00	19:00						産	○
52	A	新和	私	60	7:00	19:00	○					産	○
53	I	石川	公	60	7:30	18:30						4	
54	O		私	45	7:15	18:30		○		○		産	
55	M	城東	私	60	7:00	18:30	○					産	
56	J		私	90	7:00	20:00	○	○	○		○	産	
57	T		私	90	7:00	19:00	○	○	○			産	
58	H		私	60	7:00	19:00	○					産	○
59	H		私	60	7:00	19:00	○					産	

資料3 弘前市認可外保育所一覧

	園名	区分	定員	保育時間	サービス内容
1	K	私	65	月～金 7:30～18:00(時間外 7:00～7:30、18:00～19:00) 土曜日 7:30～17:00(時間外 7:00～7:30、17:00～18:00)	
2	K	私	90	月～土 7:30～19:30(時間外 7:00～7:30、19:30～24:00) 日・祝 7:30～19:30(時間外 7:00～7:30、19:30～24:00)	一時預かり・夜間保育 24時間保育・休日保育
3	T	私		昼 7:00～18:00 夜 18:00～5:00	夜間保育 休日保育
4	K	私			病院内保育所
5	K	私			
6	W	私			企業内保育所
7	J	私			企業内保育所
8	Y	私			
9	Y	私		8:00～18:00	

資料4 総合施設モデル事業実施園一覧

	都道府県	市区町村名	公・私別	設置者
1	北海道	登別市	私立	学校法人・登別市
2	青森県	弘前市	私立	学校法人・社会福祉法人
3	岩手県	水沢市	私立	社会福祉法人
4	宮城県	仙台市	私立	学校法人
5	秋田県	平鹿町	私立	社会福祉法人
6	山形県	酒田市	私立	学校法人
7	福島県	二本松市	私立	学校法人
8	茨城県	日立市	私立	学校法人
9	群馬県	明和町	公立	明和町
10	埼玉県	岡部町	公立	岡部町
11	千葉県	柏市	私立	学校法人
12	東京都	品川区	公立	品川区
13	東京都	新宿区	私立	社会福祉法人
14	神奈川県	横浜市	私立	学校法人・社会福祉法人
15	新潟県	塩沢町	私立	学校法人・社会福祉法人
16	長野県	長野市	私立	学校法人
17	岐阜県	各務原市	私立	学校法人・社会福祉法人
18	愛知県	豊田市	公立	豊田市
19	三重県	東員町	公立	東員町
20	滋賀県	守山市	私立	社会福祉法人
21	京都府	綾部市	私立	社会福祉法人
22	大阪府	堺市	私立	学校法人
23	兵庫県	加西市	公立	加西市
24	奈良県	奈良市	公立	奈良市
25	和歌山県	白浜町	公立	白浜町
26	島根県	松江市	私立	学校法人・社会福祉法人
27	岡山県	岡山市	私立	その他
28	広島県	広島市	私立	社会福祉法人
29	山口県	防府市	私立	学校法人
30	香川県	牟礼町	公立	牟礼町
31	愛媛県	松山市	私立	学校法人
32	高知県	南国市	私立	学校法人
33	佐賀県	川副町	私立	学校法人
34	長崎県	佐世保市	私立	学校法人・社会福祉法人
35	熊本県	玉名市	私立	学校法人・社会福祉法人
36	宮崎県	南郷町	私立	学校法人